



▲新米船頭が園内を案内



▲華を添えた「おらんだ楽隊」

3人で1年間頑張ります!



▲祝福され、水路を進む福田周平さん・佳代さん（6月5日）

「あやめ祭り」を動画で見よう!!
スマートフォンでアプリを起動し、この写真にかざしてください

水郷佐原水生植物園 あやめ祭り

園に吹き込む新たな風

水郷佐原水生植物園で5月28日から6月26日まで水郷佐原あやめ祭りが開催されました。今年から新米船頭も参加し、園内水路の舟めぐりも注目を集めました。

嫁入り舟の初日に挙式した新婦の福田佳代さん（多古町）は、「高校生の時に初めて嫁入り舟を見てから、ずっと憧れていました」と念願が叶い喜んでいました。

また、5月29日には、まゆショッピングセンターでミスあやめコンテストが行われました。見事、今年のミスあやめに輝いたのは石井優亜さん（牧野）、準ミスは藤野加那さん（みづほ台）と赤沢美月さん（佐原ホ）でした。石井さんは「肌で感じた市の良いところを皆さんに知ってもらうために頑張ります!」とやる気みなぎる笑顔を見せていました。

まちかど通信

楽しくホットなまちの話題をご紹介します

山田春の文化祭

芸術に親しむ週末



▲太鼓の生演奏は音が体に伝わる大迫力

今年で第6回を迎える春の文化祭が5月21日、22日に開催されました。山田公民館のロビーには2日間にわたり盆栽や書道などの作品が展示されたほか、22日はホールで芸能部発表会があり、華やかな衣装に身を包んだ出演者が楽屋入り。「あら、お達者でしたか?」と観客に声をかける出演者自身が地元の人か縁のある人だけに、見知った顔を見つけてはあちこちで話が弾みます。

幼い姉妹の民謡発表の番には、「待ってました」と客席から声援が飛び、終始和やかな雰囲気の中、楽しい時間はあっという間でした。

家庭教育講演会

子育てで一番大切なこと

5月21日にいぶき館で、大ヒット小説の通称「ビリギャル」のモデルになったさやかさんの母、橘こころさんの講演会が開かれました。「最初は子育てに失敗ばかりだった」と振り返る橘さん。失敗の中で変わっていった子育ての考え方は「子どもを信じきる」という答えにたどり着いたそうです。

「親には子どもに対する願望や、将来を操作したい感情がある。そういう気持ちをなくして、本当に子どもを信じきることが一番大切」と、会場に集まった多くの若手ママたちにアドバイスをしていました。



▲スライドにはビリギャルキャラのイラストが

行政相談委員の表彰

15年の長きにわたり貢献

久保木秀夫さん（佐原イ）は、総務大臣から行政相談委員を委嘱され、国などが取り扱う行政に関する苦情の解決に多年にわたり尽力されました。その業績が他の模範と認められて5月20日、（公社）全国行政相談委員連合協議会会長表彰を受賞しました。



▲長年の功績がたたえられた久保木さん

久保木さんは、今後も引き続いて定例行政相談所などで行政相談を担当しています。相談日は広報かとり毎月15日号の身近な相談室をご覧ください。

河川功労者の表彰

精力的な保全活動が評価

5月27日、かとり市民環境ネットワークが、公益社団法人日本河川協会の平成28年河川功労者（河川の自然保護・環境学習・河川愛護等活動の部）として表彰されました。



▲河川清掃の黒部川クリーン大作戦

平成20年に設立した同団体は、市内を流れる利根川や黒部川などで定期的な河川清掃を実施してきました。また、水質調査や川岸沿いの植栽など市内各地でさまざまな活動を展開しています。

今回、国土交通省関東整備局の推薦により、河川環境保全、環境教育、市民の環境保全に関する意識向上に尽力したことが評価されました。

カブトムシの幼虫をプレゼント

夏は網を片手に神道山へ

5月31日、今年も神道山ボランティアクラブが津宮幼稚園の園児たちにカブトムシの幼虫をプレゼント。初めは恐る恐る触っていた園児たちでしたが、幼虫のやわらかい感触を確かめながらやさしく手に取っていました。



▲カブトムシの幼虫を捕まえ、ニコリ

また、この日は里山保全と腐葉土利用のため、津宮小学校の児童が落ち葉掃きも実施。ボランティアクラブ代表の久保木啓司さん（津宮）は、「幼虫はまだたくさんいるので、夏にはぜひ成虫のカブトムシを捕まえに、また山に遊びに来てほしい」と目を細めていました。

みて見て Lovely Kids of Katori うちの子



アンパンマンが大好きなうちの元気娘です。

ほんじょう か
本城 瑠夏ちゃん
1歳10カ月(和泉)
パパ 尚幸さん ママ 亜弥さん



元気いっぱい☆お祭り大好き娘♪

すぎうら ゆめか
杉浦 結夢花ちゃん
1歳10カ月(佐原イ)
パパ 啓さん ママ 雪絵さん



ご飯と車が大好き！いっぱい食べるよ。

やまぎし あおい
山岸 葵くん
1歳9カ月(昭和町)
パパ 哲也さん ママ 明美さん



姉からの愛のム子で、たくましく成長中！

いとう かんた
伊東 幹太くん
1歳10カ月(伊地山)
パパ 良樹さん ママ 美咲さん

小見川総合病院だより vol.1

香取市東庄町病院組合が運営している国保小見川総合病院の診療内容をシリーズでお届けします。

チーム医療で透析患者をケア

血液透析とは

皆さんは慢性腎不全という病名を聞いたことがありますか？ 腎臓の機能が30%以下に低下すると、貧血、心不全などさまざまな病態に陥ります。健診で蛋白尿などが指摘されたら、内科を受診してください。残念ながら病気が進行してしまったときは、血液透析という治療を行います。



血液浄化センター
臨床工学科 係長
堀 和芳

透析とは、老廃物で汚れた血液を人工腎臓膜の網の目から除去して、手拭いを絞るように余分な水分を絞りだし、腎臓の役割を代替させることです。当院の血液浄化センターは平成16年に設置され、総合病院ならではのチーム医療を実践しています。

病気に応じたケアを

慢性腎不全の一番の原因疾患は糖尿病です。糖尿病患者には、専門医と千葉大総合内科の非常勤医が診察し、看護師や薬剤師、管理栄養士が日常生活の相談に乗ります。また定期的に検査技師や放射線技師がさまざまな検査を行い、ケアしています。このほか、透析患者に多い心血管病変には、当院医師と東大循環器チームがカテーテルで治療に当たります。透析患者特有の脊椎疾患は、脊椎センターで内視鏡による手術が可能です。自己免疫疾患急性肝・腎・膵臓疾患に対しても、特殊な血液浄化で対処しています。

きめ細かく管理された水

さらに、透析にとって大切なのは透析液を調合する水です。1回の治療で120ℓの水が血液と接触するため、水質によって生命予後が異なります。当院では専門の臨床工学技士が透析用水の消毒から濃度調整まできめ細かく管理しています。

以上のようにさまざまな専門職が患者個々に見合ったテーラーメイドの透析を目指しています。